

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2021/2/26

申請者(リーダー): 氏名 田中 明彦 職名 学長

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) SDGs指標のデータ可視化による「GRIPS SDGsデータベース」の拡充
 (英文) Expanding “GRIPS SDGs Database” by increasing visualized data of the SDGs

期間(yyyy/mm/dd): 2020/6/1 から 2021/3/31 1年間

共同研究者: 氏名 職名 所属機関・部局名 (備考)

共同研究者1
 共同研究者2
 共同研究者3
 共同研究者4
 共同研究者5

リサーチ・プロジェクトの目的

国際的に合意されているSDGsの232の指標のうち、妥当性が高く収集可能であるものについて、できるかぎり体系的・包括的に収集し、それらをわかりやすい形で可視化し、HP「データベース「世界と日本」」(<https://worldjpn.grips.ac.jp>)で公開されている「GRIPS SDGs データベース」へ拡充し、公開する。
 本年度は、昨年度作成した地図データの英語化をはかるとともに、さらに多くのデータを収集し、世界地図ならびにさまざまなグラフの形でデータ可視化と拡充をはかる。

研究成果の概要(800字程度):

現在HPデータベース「世界と日本」(<http://worldjpn.grips.ac.jp>)で公開している「SDGs地図集(日本語版)」に加え、2020年度は直近データでの地図データのアップデートに加え、新たに「SDGs地図集(日本語版)」英語版となる「GRIPS Atlas of SDGs」のページを作成し公開した。
 作業の課程は、2019年度同様に、①データ収集②データ加工③データの可視化④HPへの公開作業と、大きく4つに分けられ、2020年度は以下のようなスケジュールで作業をすすめた。
 ①データ収集:2020年6月～8月
 ・国連、IMF、世界銀行などの最新版データなどをダウンロードしデータ収集を行った。
 ②データ加工:2020年9月
 ・ダウンロードしたデータをもとに、Rでのプログラミングのためにデータ加工をすすめた。
 ・更新されたデータで、すでに公開している地図データ(日本語)も作成しなおした。
 ③データの可視化:2020年10月
 ・新しくダウンロードしたデータをもとに、Rを使いプログラミングし、データを白地図に色分けしたり、バブル地図でデータを表示するなどの形で、可視化した。
 ④HPへの公開:2020年10月～現在
 ・Rを使って作成された可視化データ(地図データ)を、HP用にさらに加工、修正し、公開した。
 ・SDGsの目標ごとにデータを分類し、HP公開用インデックスを作成した。
 ・HPのアクセスログを計算し、2020年12月時点での地図データの利用状況を解析した。

具体的には、2020年度は地図データ(英語)130件を作成・公開した。
 これまでに作成された地図データは、大学などの授業や、専門家の講演でも多く利用され、国内外問わずSDGsの現状把握のための基礎的資料となり、SDGs実現のために貢献したと考えられる。なお、HPデータベース「世界と日本」の2020年1月から12月のアクセスログを解析したところ、地図データのアクセス数は9027件であった。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAの具体的な仕事内容を記載してください。また、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)があれば必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)

(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。))等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	2件 標題	雑誌名 /所収図書 の編者・図書 名・出版者等	巻・号 /章・節	1件 発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	0 査読 (有=1)	0 国際共 著 (yes=1)	DOI	0 オープン アクセス (yes=1)
1 田中明彦	グローバルイシューで連携を	Voice		4月 2020	52	59				
2 田中明彦	アメリカ民主主義の強靱性の行方	Voice		12月 2020	34	41				
3										
4										
5										

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	1件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1 田中明彦 編 川島真 編	20世紀の東アジア史 第1～3巻	東大出版会	2020年7月	1056
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の上に(招待講演)と明記してください。

報告者等	5件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1 田中明彦	ポストコロナ時代の国際秩序	経団連勉強会	2020/6/25	経団連
2 田中明彦	これから世界はどうなるのか—新興国編— 「米中関係と東アジア」	経済同友会会員Web 配信セミナー	2020年7月～8月	会員Web配信(事前収録)
3 田中明彦	ポスト・コロナ時代の新たな世界秩序について	日本アカデミア勉強会	2020/8/24	オンライン講演
4 田中明彦	世界と日本	JICA日本理解プログラム	2020/9/3	オンライン講演
5 田中明彦	今後の世界情勢の行方	日本工業倶楽部	2020/10/22	日本工業倶楽部
6 田中明彦	2021年の国際政治動向、コロナ後の世界秩序	日経バーチャルグローバルフォーラム	2020年12月～	オンライン講演
7 田中明彦	新型コロナ・パンデミックと国際政治：日本の課題	関西財界セミナー	2021/2/4	オンライン講演
8 田中明彦	世界システムの展開	千葉大学 卓越教養特論	2021/2/5	オンライン講演